



2021年3月25日

各 位

会 社 名 株式会社パワーソリューションズ
代 表 者 名 代表取締役社長 佐藤 成信
(コード番号：4450 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役 高橋 忠郎
電 話 番 号 03-5288-1117

2020年12月期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

この質疑応答集は、2021年2月12日（金）に動画配信した決算説明会に対する個人投資家様からの電話・メールでのご質問及び決算発表後の機関投資家 1on1 ミーティングにて、機関投資家様からいただいた主なご質問をまとめたものです。

Q 1：コロナ禍における直近の受注状況について教えてください。

A 1：2020年第2四半期を底に徐々に回復してきております。お客様との商談についても、リモートワークが定着してきたこともあり、商談機会も増加し受注につながっております。また、RPA関連サービスについても働き方の変化などによるDX化の後押しもあり、受注が拡大しております。これらにより、2021年度では、2019年度と同水準までの売上回復を見込んでおります。

Q 2：2020年の利益水準が2019年と比較し、下がっている理由を教えてください。

A 2：2020年は、①人材採用(中途・新卒)、②RPA関連サービスの販促・サービス企画活動の継続といった中長期的な事業拡大の礎となる活動にコストを使ったこと、そして、九段下オフィスを新設（芝大門オフィスと大手町二丁目オフィスを統合）したことによる一時費用が発生したためです。

Q 3：2020年第4四半期の販管費が減少した理由を教えてください。

A 3：RPA関連サービスの販促・サービス企画活動への支出がひと段落し縮小したため、2021年度についても概ね同水準程度の支出となる見込みです。

Q 4：RPAには、さまざまな製品がありますが、貴社はUiPathだけの取り扱いですか。

A 4：WinActor や BizRobo などさまざまな製品がございますが、弊社では、UiPath社のUiPath製品のみを取り扱っております。

Q 5：2021年4月入社予定の新卒は何名ですか。

A 5：14名を予定しており、2020年4月入社に比べ1名増加しております。

Q 6：2021年上期に特別な費用は見込んでいますか。

A 6：4月に大手町本社を廃止し、九段下オフィスに統合（本社移転）することによる一時費用を予定しております。

Q 7：今期の売上と利益の成長について教えてください。

A 7：売上は、着実なV字回復とし2019年度の水準に戻すことを目標としております。利益は、上期に本社移転による一時費用の発生やRPAライセンス販売が下期偏重であることなどにより、利益は下期偏重となり、下期の営業利益率は約10%まで回復すると見込んでおります。

以上